

しんらん交流館市民講座



寺島 実郎 氏

一般財団法人日本総合研究所理事長

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究所修士課程修了後、三井物産入社。米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産戦略研究所所長、三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等を経て現職。多摩大学学長も務める。

国交省・国土審議会計画部会委員、宮城県・震災復興会議副議長、経産省・資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員等歴任。

著書に『新経済主義宣言』（新潮社、第15回石橋湛山賞受章）『脳力（のうりき）のレッスンⅠ～Ⅳ』（岩波書店）『世界を知る力』（PHP新書）『大中華圏』（NHK出版）『20世紀と格闘した先人たち』（新潮社）ほか多数。



対談者

安富 信哉

真宗大谷派教学研究所長

1994年新潟県生まれ。早稲田大学第一文学部英文学専修卒業後、大谷大学大学院博士課程真宗学専攻単位取得退学。現在、大谷大学名誉教授。博士（文学）。新潟県光濟寺住職。東方佛教徒教会（EBS）事務局長。真宗大谷派董事院董事。真宗大谷派講師。

講題

現代に生きる仏教

日時

2016年4月11日(月)

18時～20時（寺島実郎氏講演80分・安富信哉との対談30分）

会場

しんらん交流館 2階大谷ホール

定員

300名

資料代

500円

※会場受付で
受領いたします。

いま世界は、人間同士の対立による憎悪と悲しみに覆われています。このような世界情勢から、あらためて私たちのこれからの方向性が多面的に問われているのではないのでしょうか。本年の「しんらん交流館市民講座」では、日本総合研究所理事長・寺島実郎氏をお迎えし、グローバル時代に釈尊・親鸞の仏教思想のもつ意義と可能性についてご講演いただきます。さらに講演後、寺島氏と安富信哉（真宗大谷派教学研究所長）との対談を通して、仏教・真宗思想のもつ意義と可能性を市民の皆様と共に考えたいと思います。



【お問い合わせ先】

真宗大谷派（東本願寺）
真宗教化センター

しんらん交流館内 教学研究所



詳しくはWebサイト
「浄土真宗ドットインフォ」まで

TEL.075-371-8750 〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199